

■ 統計・資料 ■

展覧会別観覧状況

区 分	常設展	特 別 企 画 展		企画展	計	企 画 展		ファミリー文学館		
	北海道文学の流れ	挿絵と装幀の小宇宙	「北緯五十度」の詩人たち	花咲く北の川柳		ヴィジュアル・ポエティカ	版画に生きる大自然	ぼくもわたしも絵本作家	絵本の館のたからもの	
開催日数	297日	52日	51日	26日	297日	12日	18日	5日	20日	
観覧者総数	8,761人	3,284人	1,246人	685人	13,976人	186人	902人	59人	2,054人	
有 個 人	一 般	2,751	1,328	287	238	4,604				
	大学生	204	237	14	1	456				
	高校生	140	7	4	11	162				
	小中生	1,300	44	11	21	1,376				
	小 計	4,395	1,616	316	271	6,598				
団 体	一 般	1,780	1,023	528	119	3,450				
	大学生	388	235	56	6	685				
	高校生	27	24			51				
	小中生	273	29	11		313				
	小 計	2,468	1,311	595	125	4,499				
免 除	1,898	357	335	289	2,879					
合 計	8,761	3,284	1,246	685	13,976					

※ 小中高生は、常設展及び企画展は無料。

閲覧室利用状況

区 分	人数・件数	1日平均
開 室 日 数	297日	
利 用 者 数	3,432人	12人
レファレンス件数	193件	0.6件
資料閲覧件数	177件	0.6件

事業種別来館状況（総括）

	区 分	利用者数
受 託 事 業	展覧会事業	13,976人
	閲覧事業	3,432
	講演会・セミナー事業	558
	文芸映画上映会事業	818
	その他の教育普及事業	2,311
財団独自事業		2,991
計		24,086

資料収集状況

区 分	購入点数	受贈点数	受託点数	特別資料内訳		
				区 分	購 入	受 贈
図書	778	577	0	原稿	128	17
雑誌	607	2,358	0	書簡	15	19
CD-ROM	1	0	0	色紙・短冊	32	7
VTR・テープ	1	1	0	その他	3	23
特別資料	177	66	0	計	178	66
レプリカ	2	0	0			
計	1,566	3,002	0			

主な収集特別資料一覧

種 別	形 態	名 称	作 者
メモ	ノート	(相川修死亡広告)	相川正義
絵画	水彩画	裸婦	小熊秀雄
絵画	水彩画	裸婦	小熊秀雄
原稿	便箋	断喝	池田六象
原稿	便箋	星に歩む	池田六象
原稿	原稿用紙	兎狩り	Walter de la mare
原稿	原稿用紙	(「さとぼろ」23号目次原稿ほか)	
原稿	原稿用紙	さとぼろ第五巻総目次	
原稿	原稿用紙	(さとぼろ原稿)	
原稿	原稿用紙	(さとぼろ原稿)	
原稿	原稿用紙	(「さとぼろ」原稿)	
原稿	原稿用紙	「さとぼろ」所載版画	
原稿	原稿用紙	「さとぼろ」第一巻目録	
原稿	原稿用紙	伊藤義輝木版画集	
原稿	原稿用紙	(「さとぼろ」原稿用紙)	
原稿	原稿用紙	カンミール・マーレウキチ無対象の世界	
原稿	原稿用紙	詩集「雪と麵麩」の自序	相川正義
原稿	原稿用紙	むかしのうた	相川正義
原稿	原稿用紙	六号記	相川正義
原稿	原稿用紙	六号記 義輝兄	相川正義
原稿	原稿用紙	六号記 詩集「風景を歩む」に対する吾がメモ	相川正義
原稿	原稿用紙	(無題)	相川正義
原稿	便箋	無題	相川正義
原稿	原稿用紙	海峡	アヲテ・慧
原稿	原稿用紙	日の出	アヲテ・慧
原稿	便箋	豊平峡	池田六象
原稿	便箋	壁掛	池田六象
原稿	便箋	よき秋	池田六象
原稿	便箋	傷心抄	池田六象
原稿	便箋	心の回転	池田六象
原稿	便箋	雪・女・子供	池田六象
原稿	便箋	氷咲く窓	池田六象
原稿	便箋	地球磁気	池田六象
原稿	原稿用紙	場所から唄ふべき詩	池田すゞの

種別	形態	名称	作者
原稿	原稿用紙	(排他主義的文芸運動に…)	池田すゞの
原稿	原稿用紙	銖人の乙女	伊藤
原稿	原稿用紙	*草の花	伊藤
原稿	原稿用紙	雨中遠景	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	失題	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	編物	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	明るい風景 ほか	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	純粹詩論	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	年譜	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	溪谷	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	失へる塔	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	風景を歩む	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	湖	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	希臘古詩	伊藤秀五郎 (訳詩)
原稿	原稿用紙	近景	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	(無題)	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	花園	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	冬夜	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	水郷	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	遠き山	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	春装	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	三月光る	伊藤秀五郎
原稿	原稿用紙	森林	(伊藤秀五郎)
原稿	原稿用紙	薄光	(伊藤秀五郎)
原稿	原稿用紙	五月の日記	伊藤義輝
原稿	原稿用紙	六号雑記 後記	伊藤義輝
原稿	原稿用紙	印象一束	伊藤義輝
原稿	原稿用紙	日記	伊藤義輝
原稿	原稿用紙	十二月	伊藤義輝
原稿	原稿用紙	(その他)	伊藤義輝
原稿	原稿用紙	十一月	伊藤義輝
原稿	原稿用紙	三月	伊藤義輝
原稿	原稿用紙	三月	伊藤義輝
原稿	原稿用紙	静物と風景	菅野利助
原稿	原稿用紙	家のある風景	菅野利助
原稿	原稿用紙	つゆくさ	菅野利助
原稿	原稿用紙	秋に綴る	菅野利助
原稿	原稿用紙	微笑	菅野利助
原稿	原稿用紙	灯火草	菅野利助
原稿	原稿用紙	恋草	菅野利助
原稿	原稿用紙	雨降花	菅野利助
原稿	原稿用紙	蠟燭	菅野利助
原稿	原稿用紙	春になつたから	菅野利助
原稿	原稿用紙	みづばせう	菅野利助
原稿	原稿用紙	チュウリップ	菅野利助
原稿	原稿用紙	後日の話	菅野利助
原稿	原稿用紙	西洋木版画史	菅野利助
原稿	原稿用紙	木口木版の試作	菅野利助
原稿	便箋	早春情景	菅野利助
原稿	原稿用紙	彼は廻転が鈍った	菅野利助
原稿	原稿用紙	回想の家一つ	田上義也

種 別	形 態	名 称	作 者
原稿	便箋	回想の家(2)	田上義也
原稿		(家の図面)	田上義也
原稿	原稿用紙	陶工卯之助	富田碎花
原稿	原稿用紙	五月・六月	中山初枝
原稿	原稿用紙	雪と抒情 疾走する櫓 林檎	中山初枝
原稿	原稿用紙	詩の部屋 母達に与へる安楽椅子 海で	中山初枝
原稿	原稿用紙	幻想曲	中山初枝
原稿	原稿用紙	はるになるあめ はなひらく	
		雨あがるはるのあさけに	中山初枝
原稿	原稿用紙	魂の郷愁 かっこうかっこう immortal 雨 櫻	
			中山初枝
原稿	原稿用紙	青空と語る	中山初枝
原稿	原稿用紙	友情	中山初枝
原稿	原稿用紙	短歌習作 芥子の花 ちゅうりっぷ 牡丹	中山初枝
原稿	原稿用紙	蒲公英	中山初枝
原稿	原稿用紙	ち・ぐ・は・ぐ	中山初枝
原稿	原稿用紙	七月の食慾	中山初枝
原稿	原稿用紙	「さとぼろ」第廿五号ゲラ	中山初枝
原稿	原稿用紙	雪の中に燃えるもの	中山葉津繪
原稿	原稿用紙	雪晴れの朝	(中山葉津繪)
原稿	原稿用紙	夢・夢・夢	(中山初枝)
原稿	原稿用紙	詩集「雪と麵包」の序	野口米次郎(相川正義記)
原稿	原稿用紙	知見の風景画は歪んでゐる 一遍在の燭を点けたい	
		處女林地で 知見の風景画は歪んでゐる	服部光平
原稿	原稿用紙	一九二五・九月蘭島にて 海	服部光平
原稿	原稿用紙	山道で	服部光平
原稿	原稿用紙	眼のとどかぬ野原	服部光平
原稿	原稿用紙	なぞへに沿へる道	服部光平
原稿	原稿用紙	青き空の下	服部光平
原稿	原稿用紙	柳青む	服部光平
原稿	原稿用紙	象形文字	服部光平
原稿	原稿用紙	私は郊外の家へ帰るー私は郊外の家へ帰る	
		月が明るいので 嫩芽よ 野原で楡 ポプラ	アカシヤ
			服部光平
原稿	原稿用紙	でらいと・もれんぼ・えきすとら	服部光平
原稿	原稿用紙	海藻ー港 海藻 海I 海II	服部光平
原稿	原稿用紙	ら・だべる・こゝたく	服部光平
原稿	原稿用紙	逝く春(無題)	服部光平
原稿	原稿用紙	水を含みて風白し	服部光平
原稿	原稿用紙	秋の野で 9と6	服部光平
原稿	原稿用紙	月と樹	服部光平
原稿	原稿用紙	後記	服部光平
原稿	原稿用紙	旅の一日より 秋と。春と。	舟木黙児
原稿	原稿用紙	庭	真壁仁
原稿	原稿用紙	手紙出したら	圓方京子
校正紙		(「さとぼろ」校正用紙)	
校正紙		(「さとぼろ」校正用紙)	
校正紙		明るい風景 ほか 校正用紙	伊藤秀五郎
校正紙		(「さとぼろ」22号校正用紙)	(伊藤秀五郎)
詩稿	私の丘		伊藤義輝
詩稿	茶事		渡辺茂

種別	形態	名称	作者
書簡	便箋	更科源藏宛	尾崎喜八
書簡	便箋	更科源藏宛	中西悟堂
書簡	原稿用紙	更科源藏宛	深澤索一
書簡	便箋	更科源藏宛	藤原定
書簡	便箋	更科源藏宛	吉田一穂
書簡	便箋	更科源藏宛	吉田一穂
色紙	色紙	保険満期猫と夕餉を分ち合う	泉田美代子
色紙	色紙	軒下のつららが恋し昭和の世	井上洋二
色紙	色紙	イヤリング鼻輪に換えて春に行く	梅津忠篤
色紙	色紙	若者の新語が増えるビルの街	亀田篤
色紙	色紙	紅葉へ映画のような男女の歩	河上しづ子
色紙	色紙	白と赤毛糸が語る冬帽子	川端義雄
色紙	色紙	顔黒が浴衣で歩く真夏の夜	神戸かち坊
色紙	色紙	厚底で子を抱くママの千鳥足	佐藤勝美
色紙	色紙	テレビゲーム親が気をもむ二浪の子	佐山八重
色紙	色紙	芸術は服従的なものではない 芸術は征服である	島木健作
色紙	色紙	この冬も生きて行くぞとほっかぶり	関いさを
色紙	色紙	やんママは保育園にも厚底で	高橋民子
色紙	色紙	鮭ぶらり提げて温めに来た絆	竹内文江
色紙	色紙	春雷にうたれて案山子眠りさめ	田中敏
色紙	色紙	作文を読まれ涙の参観日	寺西竜水
色紙	色紙	コスモスの人待ち顔に無人駅	寺西竜水
色紙	色紙	今日の喜劇終りにしなと赤提灯	中川久邦
色紙	色紙	携帯を猫も杓子も持ち歩き	中西正二
色紙	色紙	押しくらまんじゅう友の背は温かった	中村愛子
色紙	色紙	漬樽へ想い巡らす忘母在る日	成田成
色紙	色紙	きっと来る寒波に負けぬ樹を囲う	成田ダイ吉
色紙	色紙	肩パット切って歩けば風四角	島山昭子
色紙	色紙	馬小屋をきれいにしよう十二月	浜本美茶
色紙	色紙	文学とは歴史に於ける木の芽でなきやならぬ	葉山嘉樹
色紙	色紙	年寄りが居る家らしい干し大根	福田銀河
色紙	色紙	石臼と語る苦楽の幾春秋	福田銀河
色紙	色紙	生涯現役雪は地から降ってくる	丸山美智子
色紙	色紙	てんてんてまり弾んで飛んだ虹の夢	水島綾子
色紙	色紙	おふくろの味受けついで樽並ぶ	宮下栄歌
色紙	色紙	赤字線駅の花壇のゆきとどき	山下白舟
色紙	色紙	母と子の長い話のいもかぼちゃ	倭文字
色紙	色紙	雪虫とひらひら落ち葉ジャンケンポン	吉田和香
葉書	官製葉書	更科源藏宛	伊東静雄
葉書	官製葉書	更科源藏宛	内田吐夢
葉書	官製葉書	更科源藏宛	木山捷平
葉書	私製葉書	小田観螢宛	五島茂
葉書	官製葉書	小田観螢宛	島木赤彦(久保田俊彦)
葉書	絵葉書	更科源藏宛	武田泰淳
葉書	私製葉書	更科源藏宛	中西悟堂
葉書	私製葉書	更科源藏宛	前川千帆
葉書	官製葉書	更科源藏宛	山中散生